

特集2 子どもたちの声を主役に

☆児童館は”子どもたち”が主役です。

各児童館では、子どもたちの声を聞き、居心地の良い児童館づくりに向けての取り組みを行っています。

各児童館での子どもたちの声を聞いて実施した事業を紹介します。

○子どもの声を吸い上げる取り組み！

館内にポストを設置し、子どもたちの要望などを入れてもらっています。



ポストに入れてもらった要望等に返事をしています。



こども会議やコメント書き込みコーナーを実施し、日頃から思っている児童館の気になることなどを募集。



音楽室や楽器の扱い方について子ども会議をしました。低学年の参加が多く、意見が出しやすいようにふせんを使用しました。

○日常の声から実現したもの！

読みたい本をリクエストしてもらい、リクエストの多かった本を購入しました。



児童館でよくカードゲームをしている子どもたちから「カードゲーム大会をやろうよ」との声が上がり、カードゲーム大会を開催しました。今では定期的で開催しています。



児童館に来館している子どもたちから声があがり「ドッジボール大会」「卓球大会」を開催しました。小・中学生が熱戦を繰り広げました。



クッキングの復活を望む声が多く昨年に復活し、2月までに3回開催しました！

○子ども会議・実行委員企画の実施！



来館している子どもたちに呼びかけ、応じてくれた子と「子ども会議」を開催しています。



「子ども会議」で企画した夕涼み会で「すいか割り」を実施しました。



こども会議企画として他館とドッジボール交流戦を行いました。こども会議のメンバーの活躍で多くの子どもたちが集まりドッジボールを楽しんでいました。

みんなで意見をすり合わせ、キックベース、ドッジボール、リレー、スクイーズ作りなど、協力し合いながら行いました。



こども達からのやりたいを形に「カードゲーム大会」。小学生、中学生を実行委員にルールの設定や運営方法を検討、大会を実施しました。

幼児のクリスマス会の準備を見て「小学生のクリスマス会はやらないの？」に端を発し、運動会のダンス・マジック・歌や楽器演奏など、みんながやりたい事いっぱいになりました。



子どもたちの「まつりで『射的ゲーム』をやりたい！」との声で準備をして、自治会の秋まつりにみんなで参加しました！



これからも子どもたちの些細な声も大事にし、子どもたちと一緒にわくわくするような児童館を作っていきます！

